

（議員用）

2025 年 4 月 28 日

宝塚市議会議長 様

議員名（※）中野 正



（※）自署しない場合は記名押印してください。

2024年度 政務活動費収支報告書

宝塚市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり、2024年度政務活動費に係る収入及び支出を報告します。

記

1 収 入 政務活動費 888,000 円

2 支 出

科 目	金 額
研究・研修会費	- 円
調査費	57,799 円
広報費	- 円
広聴費	- 円
要請・陳情活動費	29,728 円
資料作成・購入費	- 円
人件費	- 円
事務費	- 円
合 計	87,527 円

3 残 額 800,473 円

支 出 内 訳 書

科 目	内 訳	
研究・研修会費 (0 円)	(1) 会場費	- 円
	(2) 講師謝金・旅費	- 円
	(3) 出席者負担金・会費	- 円
	(4) 旅費	- 円
	(5) 交通費	- 円
	(6) その他	- 円
調査費 (57,799 円)	(1) 旅費	56,040 円
	(2) 交通費	1,759 円
	(3) その他	- 円
広報費 (0 円)	(1) 広報紙・報告書印刷費	- 円
	(2) 送料	- 円
	(3) 会場費	- 円
	(4) その他	- 円
広聴費 (0 円)	(1) 旅費	- 円
	(2) 交通費	- 円
	(3) 会場費	- 円
	(4) 印刷費	- 円
	(5) その他	- 円
要請・陳情活動費 (29,728 円)	(1) 旅費	29,728 円
	(2) 交通費	- 円
	(3) 印刷費	- 円
	(4) その他	- 円
資料作成・購入費 (0 円)	(1) 資料作成費	- 円
	(2) 翻訳料	- 円
	(3) 書籍・新聞等購入代	- 円
	(4) その他	- 円
人件費 (0 円)	(1) 賃金	- 円
事務費 (0 円)	(1) 事務消耗品費	- 円
	(2) 備品費	- 円
	(3) 電話料	- 円
	(4) その他	- 円

(会派名または議員名 中野 正)

政務活動費支出書

支出科目	調査費	内 訳	旅費	支出番号	1
支 出 日	2024年4月25日		支出金額	56,040 円	
支 出 先	JR西日本・東海・東北 他				
支出内容	出張旅費及び宿泊料				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

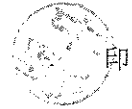
供	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
別紙様式 3-2 (議員用)									議

出張調査（研究・研修会参加）報告書

宝塚市議会議長 様

議員名

中野正



出張調査（研究・研修会参加）の結果について、次のとおり報告します。

1 調査先（研究・研修会会場） 福島県福島市役所
栃木県宇都宮市教育センター

2 期 間 令和6年4月24日 ～ 令和6年4月25日

3 出張者氏名（議員名） 中野正

4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付

福島県福島市役所 議会答弁準備の負担軽減／システム開発し部局超えて情報共有
栃木県宇都宮市役所 メタバース（仮想空間）で不登校児支援 アバター（分身キャラクタ）介して交流

5 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
4/24	JR	宝塚～新大阪	510円	✓ 有・無	
	JR	新大阪～福島	21,010円	✓ 有・無	
	タクシー	JR福島⇔福島市役所	926 927円	✓ 有・無	
	JR	福島～宇都宮	6,050円	✓ 有・無	
4/25	タクシー	JR宇都宮⇔教育センター	833 834円	✓ 有・無	
	JR	宇都宮～新大阪	18,460円	✓ 有・無	
	JR	新大阪～宝塚	510円	✓ 有・無	
合 計			48299 48,301円	✓	

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

1人	1泊	金額 計	✓ 9,500 円 ✓
6 交通費	ガソリン代		円
	高速代		円
	駐車場代		円
	自動車借上料		円
	計		円

7 出席者負担金・会費 @ × 1 人 =

合計
57,801 円
52299

【記入要領】

- ア 出張調査（市内を除く）、研究・研修会参加（市外、市内とも）の場合、この報告書を作成すること。
- イ 調査（研究・研修）結果の概要、所見等については別紙を添付すること（書式は任意）。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額（13,000円）以内で現に要した実費を記入すること（領収書を別紙に添付する）。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車（バイクを含む）等を利用した場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。
- ク 出席者負担金・会費は、支出があった場合に記入すること（領収書を別紙に添付する）。



3人分

領 収 書

Receipt

領収年月日
金額

2024-4-16

登録番号: T1120001059675

¥63,030 (消費税等込み) 税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(30423 9枚)

西日本旅客鉄道株式会社

宝塚線F1発行

40424-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

JR 新大阪 → JR 福島
一人 ¥21010

3人分

領収書

Receipt
領収年月日 2024.4.24 登録番号: T9011001029597
金額 ¥9,240 税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(10337 3枚)
東日本旅客鉄道株式会社

福島西口VF1発行 20338-02

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

3人分

領収書

Receipt
領収年月日 2024.4.24 登録番号: T9011001029597
金額 ¥8,910 税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類

(50334 3枚)
東日本旅客鉄道株式会社

福島西口VF1発行 60335-02

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

JR 福島駅 → 宇都宮駅

大人2人 ¥6050

領 収 証

2024年 4月25日

中野 正 様

金18,460円

ただし、乗車券類代

(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

東日本旅客鉄道株式会社

登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

宇都宮805 No.000040

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

JR 宇都宮 → JR 新大阪

領収書原本は 藤岡議員の支出書 No.1 に添付

4/24 JR 福島駅 → 福島市駅

2780 円 4/24

4/24 福島市駅 → JR 福島駅

藤岡議員 927 円

中野議員 926 円

坂本議員 927 円

計 2780 円

領収書

2024 年 04 月 24 日 -005

メーター運賃

¥1,660 円

合計

¥1,660 円

(税率 10%)

登録番号 T3380001001403

現金支払

¥1,660 円

無線番号 150

毎度ご乗車ありがとうございます。

福島貸切辰巳屋自動車

福島市北町 3-30

024-523-3241

領収書

2024 年 04 月 24 日 -005

メーター運賃

¥1,120 円

合計

¥1,120 円

(税率 10%)

登録番号 T6380001001615

現金支払

¥1,120 円

無線番号 0507

毎度ご乗車ありがとうございます。

本田タクシー(株)

福島市太平寺字毘沙門堂 3

024-545-1155

4/25 JR 宇都宮駅 →

宇都宮駅

2500 円 4/25

4/25 宇都宮駅 → JR 宇都宮駅

藤岡議員 833 円

中野議員 833 円

坂本議員 834 円

計 2500 円

領収書

2024 年 04 月 25 日

車両番号 6125

運賃

¥1500 円

合計

¥1500 円

(適用税率 10%)

上記の様に領収致しました



川タクシ-株式会社

栃木県宇都宮市泉が丘 3-1-17 番 11 号

本社(営) ☎ 028-680-8822 (代)

清原(営) ☎ 028-687-8011 (代)

下栗(営) ☎ 028-680-8822 (直)

日本・東北方面は宇都宮・駒を御利用下さい

☎ 0288-21-5211

登録番号: T1060001000513

領収書

2024 年 04 月 25 日

車両番号

6117

運賃

¥1000 円

合計

¥1000 円

(適用税率 10%)

上記の様に領収致しました



川タクシ-株式会社

栃木県宇都宮市泉が丘 3-1-17 番 11 号

本社(営) ☎ 028-680-8822 (代)

清原(営) ☎ 028-687-8011 (代)

下栗(営) ☎ 028-680-8822 (直)

日本・東北方面は宇都宮・駒を御利用下さい

☎ 0288-21-5211

登録番号: T1060001000513

領収書

Rakuten Travel

発行日: 2024/4/15
発行1回目

中野正

様

支払金額 9,500 円
宿泊料金: 9,500 円

但し サービス利用代金等として

■ 内訳

クレジットカード決済金額 9,500 円

■ 課税対象

10%対象 9,500 円

課税対象外 0 円

■ 利用内容

宿泊者氏名 なかの ただし

予約番号 RYa0i5nyd0_1

宿泊施設 アパホテル〈宇都宮駅前〉

宿泊施設住所 栃木県宇都宮市東宿郷2-4-4

チェックイン日 2024/4/24

チェックアウト日 2024/4/25

宿泊人数 大人 1名

ご利用ありがとうございました。

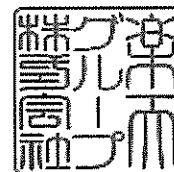
楽天グループ株式会社

トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1
楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



概要

福島市独自で議会答弁検討システムを作り（内製）事務負担と業務時間を削減するというもの

システム開発の動機としては、現在最高デジタル責任者補佐（CDO）補佐の信太氏が、総務課の次長として赴任した時に、総務部の課長係長が本会議の一般質問の議員隊対応に、バタバタしているのを見て、効率的にできる方法があるのではないかと自らマイクロソフトのAccessを使って、データベースを作り、情報を瞬時に共有するシステムを作ったことが始まりとのこと。

内容については、質問に関する係長の質問取りから各課へ振り分ける仕事を総務が行っていた。振り分けられた質問を各課で係長が答弁作成をし、印刷して課長部長のチェックを受け、紙で総務課に渡し、答弁協議のため答弁協議に入る市長以下参集人の人数分の印刷をして望み、訂正あればまた人数分の印刷をして終われば各課から総務に本会議に臨む人数分の答弁書印刷して、その間に訂正あればまた訂正し同じだけ印刷をしてという感じで効率の悪いことをしていたのを、このシステムで、答弁取りの段階で質問をシステムに入力すると同時に全庁で閲覧が可能で、各課で答弁案を入力すると入力をすると同時に課長部長に関わらず閲覧可能でチェックできる。チェックを入力できその場で全庁で共有できる。答弁協議のペーパーレスで行い、会議直前まで入力可能で、終了後総務課としてはシステムから各課の答弁をシステムからまとめて答弁集を作りPDFで出席者に送るだけになる。

これによって、総務課のバックヤード業務（集約、印刷、丁合、差し替えなど）の削減、各課とのデーター受け渡し作業が不要となる。

各部局は、紙の受け渡しで総務課に足を運ぶ必要がなくなり、総務課とのデーター受け渡し作業が不要となる。

市長答弁検討では部局単位、議員単位に答弁を抽出しスムーズに検討が行えるようになる。

また過去のデーターは今まで紙やデーターのやり取りが多く、紙答弁集と議会のホームページの議事録の確認作業も必要だったが、このシステムでは過去データーをリアルタイムで検索可能となる。

以上のことでペーパーレス化が答弁検討会で年間11,000枚削減、答弁書で年間44,000枚削減でき合計で年間55,000枚削減できる。また準備事務を年間150時間削減でき、答弁検討時間を10時間から5時間に短縮できる。

開発にかかった費用は、信太氏が自ら作った内製なので0円とのこと。s 3

苦労した部分は、変えることに対する抵抗はやはりあったとのこと。当初、信太氏が前に居た部署の消防と総務だけだったが、市長の目に留まり全庁でのシステム利用となったとのこと。

システムとして質が高く、効果が高いとのことで、株式会社ぎょうせいと地元の会社株式会社エフコムとで販売したいということで、現在販売している。福島市にも使用料として一部収入がある。

所見

いかに業務を効率化するか。特に議会对応の効率化が一番時間がかかっている業務ではあるが、なかなか効率化するのが難しい業務で、そこを内製でのシステム開発で効率化を図ったということに感銘を受ける。

またDXの流れの中で、市民とのやりとりのシステムは色々開発され販売されているが、今回のような議会对応のシステムはなく、待っていてもできないので自分たちで作らなければ効率化できないと内製で作ったのが効果を発揮し、若手も作るようになり、現在情報企画に寄せられるこういうシステムの内製相談が83件もあるというのが福島市役所のレベルを上げている気がする。

できる、できないはあるが、なんとかしようという情熱が大事と考える。

確かに今回のように内製できる信太氏のような人材がいたから出来たということもあるが、そういう人材を抱えていてその能力を伸ばしたトップダウンの決断も評価する。



ようこそ

兵庫県 宝塚市議会

公明党議員団 様

日時：令和6年4月24日（水）

午後2時00分～

場所：福島市役所909会議室

～ 行 政 視 察 次 第 ～

1. 開 会
2. あいさつ
3. 調査事項説明・質疑応答
（1）議会答弁検討システムについて
4. 閉 会



福島市
FUKUSHIMA CITY

福島市・宇都宮市視察 質問事項

議会答弁の準備をオンラインで一元管理システム

議会答弁システム

質問事項

1. このシステムの開発動機
2. システムの内容
3. システム開発で苦労した点
4. 開発にかかった費用
5. 費用に対する効果は
6. 具体的効果（業務の効率化とペーパーレス化などその他）
7. 議員の評価
8. 職員の評価
9. 市民の評価
10. 「答べんりんく」を全国に横展開する意味
11. 商品化の苦労と販売目標
12. 200以上の自治体から引き合いが寄せられている現状について

自治体DX推進参考事例集

【3. 内部DX】



総務省

令和5年4月28日

22 「議会答弁検討システム」で事務負担・印刷物を大幅削減【福島県福島市】



（総務省）

取組の経緯・きっかけ、概要を教えてください。

市長は常々職員に業務改革と意識改革を求めている、今回議会答弁をまとめる一連の業務に焦点を当てました。
特にバックヤードの職員にかかる負担を改善したいと考えました。

一方、議会答弁に関連する民間ソフトウェアは見あたらず、自らの手で部局を超えて使えるデータベースシステムを作ることと省力化を図り、併せてペーパーレス化したいと考えました。

そこで、Microsoft Accessをフレームに、VBA、ADO、SQLを使って開発しました。



システム作成や全庁的な取組にした工夫や職員の方の声を教えてください。

平成30年の開発当初より、アジャイル的に機能改善を繰り返しました。開発側、担当者も同じ職員という意見交換しやすい環境の中で、細かな要望にも、僅かでも業務時間を短縮できるなら機能に組み込み「現場に即した仕様で効率が良いもの」に成長していきました。

システム導入にあたり「今までの仕事の流れを変えるのか」との抵抗感を持つ職員もいるので、まずは庁内2つの部だけで導入しました。その後、市長から「答弁検討会はシステムで行う」との号令があり、一気に拡大しました。

職員からは、「他の人が書く答弁をリアルタイムに参照できて便利」、「過去の類似データを検索、引用できて良い」、「ワードに質問を入力してから書き始めるのではなく、質問を選んで入力という手順がラク」との声が寄せられています。



今後の展望を教えてください。

当システムは民間事業者にて商品化が進められています。

現在100を超える自治体から問い合わせがあり、当市システムを流用することで、広く事務改善が低コストで図られることを期待しています。

☆担当：福島市 政策調整部 デジタル改革室☆

【参考情報】 福島市人口：27.3万人

関連URL：福島市デジタル化の推進 (<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/shise/kekaku/digital/index.html>)

22 「議会答弁検討システム」で事務負担・印刷物を大幅削減【福島県福島市】

参考資料

内製「議会答弁検討システム」画面イメージ

開じる		答弁作成	
R4年3月／定例会議		代表 2	1-(2)-①
質問 ●●について	16番 福島 太郎	福島の会	
ウィスコロナ、アフターコロナを見据えた取り組みについて			
市役所業務のデジタル化についての取り組みの進展について伺う。			
答弁		バックデータ	
次に、市役所業務のデジタル化については、今年度、庁内に、デジタル化を推進するためのプロジェクトチームを設置いたしました。		校了 ● R4年3月4日 13時5分24秒 福島 太 政策調整部 情報政策課	
図入りです。窓口の調整部に「デジタル改革室」を新設して体制強化を図ります。窓口の調整部は、デジタル改革を強力に推進する「情報企画推進課」を設け、本市の情報システム標準化など庁内の情報化を進めてまいります。		市長 ○	
「推進課」を設け、本市の情報システム標準化など庁内の情報化を進めてまいります。		部長 ● R4年3月3日 8時19分9秒 福島 太 政策調整部 情報政策課	
「推進課」を設け、本市の情報システム標準化など庁内の情報化を進めてまいります。		作成 ● R4年3月3日 8時19分8秒 福島 太 政策調整部 情報政策課	
「推進課」を設け、本市の情報システム標準化など庁内の情報化を進めてまいります。		答弁確認コメント	

答べんりんく

Touben LinQ

登録商標 登録第6698199号

議会答弁検討システム

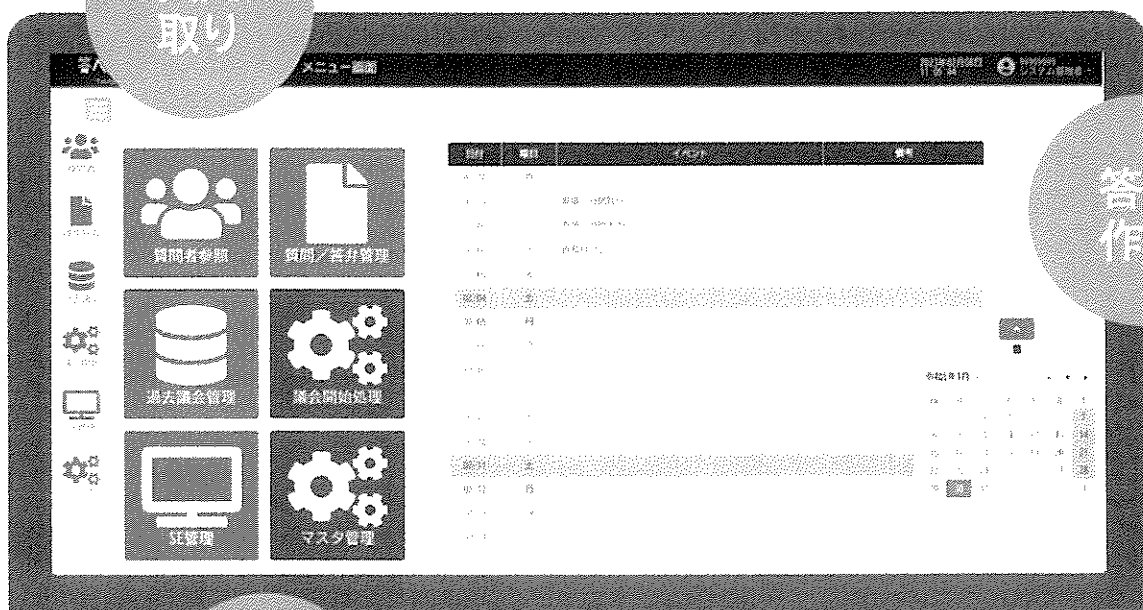
製品紹介

質問
取り

答弁
作成

答弁
検討

質問取りから答弁検討まで
オンライン一元管理



議会答弁作成業務のペーパレス化と事務負担軽減を実現



議会答弁作成業務、こんなお悩みにありませんか・・・？

答弁の進捗状況は？
他部署の答弁内容と整合が
とれているか確認が大変・・・。

質問要旨と答弁書の
集約や印刷、丁合、差替に
係る作業が多いな・・・。

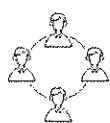
システム化したいけど、
費用も時間もかかりそう・・・。

本当に困っている業務で
デジタル化・DX推進に
取り組みたいのだけど・・・。

過去に似た内容の答弁が
あったはずだけど
どこにあるのだろうか・・・。

答べんりんくがあなたの課題を解決します！

Features 4つの特長



全関係者が
質問・答弁の進捗状況を
リアルタイムに共有

オンライン更新で進捗状況をタイムリー
に把握。
答弁作成／承認／差戻のタイムスタンプ
を表示し、進捗が見える化。



ワープロや表計算ソフト、
紙による管理の
手間を削減

質問と答弁は、リアルタイムにクラウド
サーバ上で一元管理。
答弁の急な差し替えもデータで完結。
PDF出力でペーパレス化を実現。
紙印刷削減で経費も削減。



クラウドサービス
(Internet/LGWAN)
低コストでスムーズな導入

クラウドサービスなので個別サーバの
導入が不要。
低コストで短期間の導入を実現。
サブスクリプション型サービスなので、
契約後すぐにシステム使用が可能。



議会毎の答弁情報を
保持するデータベース

システム導入後の答弁情報をデータベー
スに保持し、同一システムで参照可能。
蓄積したナレッジから類似質問の有無や
答弁内容を検索し、答弁作成を支援。

システム機能概要

01 議会開始処理

- ✓ 定例／臨時区分や開会日情報などの各議会情報を管理

02 質問者管理

- ✓ 議会毎の質問者と質問者の質問予定日、質問形式、質問順序を管理

03 質問答弁管理

- ✓ 質問要旨、質問意図の入力、担当部、確認区分の割振り
- ✓ 答弁者や答弁内容の入力、答弁作成から校了までのステータス管理
- ✓ 質問・答弁情報を一覧表示し、効率的な答弁検討会を支援
- ✓ 校了答弁などの帳票を一覧画面で指定したソート順で一括出力
- ✓ 編集集中のデータを排他ロックし、同時更新を防止

04 過去議会管理

- ✓ 議会毎の答弁情報を蓄積することでナレッジ化
- ✓ 蓄積したデータから類似質問・答弁の検索が可能

05 マスタ管理

※PDF参照ページあり

- ✓ EXCELで入力した質問情報の一括取込にも対応
- ✓ 議員情報や職員情報などのマスタ情報を管理

質問取りから答弁書作成までの流れ

所管課担当者

1. 議員毎の質問項目を登録

質問取り担当者

2. 議員にヒアリングを行った質問要旨を登録

所管課担当者

3. 答弁担当部の割振りを登録

答弁作成課担当者

4. 答弁内容の入力

答弁作成課担当者

5. 答弁内容の検討

所管課担当者

6. 答弁書のPDF（又は印刷）出力

首長から担当まで全庁で リアルタイム情報共有 / 議会答弁作成業務を トータルサポート



福島市での導入効果



答弁検討会の準備時間を
10時間から5時間に短縮し
答弁検討時間を5時間創出

削減された出力用紙は
検討会で約1万枚
本会議で約4万枚

検討会準備、答弁集約、
答弁印刷、丁合、庁内
配布の時間を削減

効率的な情報共有

（ 質問入力から答弁検討まで
オンラインで見える化し
全庁の情報共有を効率化 ）

ペーパーレス化

答弁書をPDFで出力し、
PCやタブレットで閲覧
ペーパーレス化を推進

職員の事務負担軽減

（ 質問要旨と答弁書の作成を
システム化し、準備事務の
時間をほぼゼロに ）

製品に関するお問い合わせ

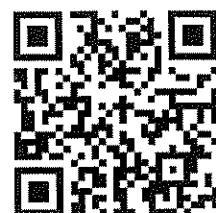
株式会社ぎょうせい 法令コンテンツ事業推進部

ブラウザのアドレスバーに gyosei.jp と入力
Home>事業分野>法令・例規・規程サービス>議会答弁検討システム
お問い合わせフォームからお気軽に



https://gyosei.jp/business/law/touben_linq/

- 販売／株式会社ぎょうせい、株式会社エフコム
- 開発／株式会社エフコム
- 協力／福島県福島市（デジタル改革室 ☎024-572-3943）



市議会事務局
調査課 調査係

わたなべ しゅういち
渡辺 秀一
Watanabe Shuuichi

〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL 024-535-3776
024-534-2520
gi-giji@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

福島市議会事務局
調査課 調査係

きくち
菊地 ゆかり
Kikuchi Yukari

〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL 024-525-3776
024-534-2520
gi-giji@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

議会事務局
調査課 調査係

正和

akazu
〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL 024-525-3776 FAX 024-534-2520
gi-giji@mail.city.fukushima.fukushima.jp
gi-giji@city.fukushima.lg.jp

電話(024)535-1111
〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号

議長 **萩原 太**
はぎはら

福島市議会

福島市
最高デジタル責任者補佐(CDO補佐)

信太 秀昭
SHIDA Hideaki

〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL 024-535-1111(内線1020)
hideaki-341@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

福島市 政策調整部 デジタル改革室
情報企画課 情報企画係

情報企画係長

高橋 正秀
TAKAHASHI MASAHI

〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL(024)525-3709
jouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp
jouhou@city.fukushima.lg.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

福島市
総務部 総務課 総務係
課長補佐兼
係長

伊勢 洋一郎
Ise Youichirou

〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL(024)525-3701
FAX(024)535-1260
youichirou-222@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

福島市 議会事務局
議事調査課

課長

加藤 淳
Kato Atushi

〒960-8601 福島県福島市五老内町3番1号
TEL(024)525-3776(直通)
FAX(024)534-2520
gi-giji@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島市
FUKUSHIMA CITY

20240425栃木県宇都宮市役所 メタバース（仮想空間）で不登校児支援 アバター（分身キャラクター）介して交流

概要

学校や社会とのつながりが持てずに、家庭で多くの時間を過ごしている不登校児童生徒が、教育から取り残されてしまう事がないよう「学びの機会」を保障し、オンラインでの学習支援や相談、体験活動等を通して、人とのつながりを実感しながら、将来の「社会的自立」に向けた力を育むとの目的で、「U@りんくす」を開設する。

「U@りんくす」とは、「U」宇都宮、あなた・君youと「@」アットホーム（自宅でくつろいで）「links」つながる、輪、絆などを合わせて、「あなたとつながるアットホームな場」として考えた造語。庁内で公募し選ばれる。内容としては、オンラインでホームルーム、メタバース（仮想空間）でのアバターを使った交流、学習支援、相談、体験活動（農業体験、自然とのふれあい、公共施設の見学）などを行う。

対象としては校内の別室や来所型の施設の利用等につながない不登校児童生徒（不登校生徒児童1,420人のうち343人）

実績として昨年から初めたが小学校27人、中学校45人合計72人が参加（今年の4月からは27人）

担当職員は5名で指導主事1名、教員2名、スクールカウンセラー1名、ICT支援員1名となっている

また「U@りんくす」の利用については、学校長の判断で「指導要録上の出席扱い」になるよう、児童生徒の活動状況を学校と共有している。

導入に際して参考にした自治体は、さいたま市や熊本市だがオンラインのビデオ会議的なものやライブ配信みたいなもので、参考にはなったが他に何かないかと探した。

そんな中、ovice（オヴィス）というメタバースでの会議システムを知り、ovice株式会社さんに相談し「U@りんくす」というメタバース（仮想空間）を開発してもらう。

費用は利用料として月額5万円。随時アップデートされる。

開設以来好評でどこにもつながっていなかった不登校児童生徒が何人かつながることができている（R5年度は小学校27人、中学校45人合計72人）。メタバース空間だけでなく、オフ会も少しずつ出入るようになりリアルにつながる児童も出来た。また思っていなかった効果で保護者同士のつながりもでき親子で頑張る姿も見れるようになった。

所見

今回の取り組みは、コロナ禍で、児童生徒1人に1台端末支給があり、またDXの流れも加速し、教育委員会の取り組みというよりは全庁的な取り組みとして本来であれば予算など考えて令和6年度からの開始を考えていたが前倒しで出来たともお聞きし、全庁的に不登校児童生徒でどこにもつながっていない子どものことを考えているからこそ、成功しているんだと感じた。

始まったばかりでまだまだ課題はある感じではあるが、お聞きしていて日々スタッフも含めて進化しているように感じた。

全国からも40以上問い合わせも含めて視察受け入れもしており令和6年度でも5件受け入れ予定になっているとのこと。他自治体からも注目されている先進事例であり、メタバースが全てではないが、どうすれば繋がれるかを考える時、非常に参考になる事例であると感じた。



宇都宮市 メタバース（仮想空間）で不登校児支援 質問事項

1. 導入の動機
2. 導入の目的
3. 導入範囲（市内全域か、一部の学校だけか、小学校・中学校はなど）
4. デジタル適用支援教室（U@りんくす）の内容
5. 導入に際、参考にされた自治体は？
6. 利用している児童数
7. 関わっている先生などの人数
8. 導入費用（財源構成について）
9. 効果
10. 教育委員会内の評価
11. 保護者の評価
12. 議会の評価
13. 市民の評価
14. 児童の評価（利用している児童と利用していない児童）
15. 今後の課題、方向性

デジタル適応支援教室「U@りんくす」の概要について

※ U@りんくす（ゆーあつとりんくす）…「U」宇都宮，あなた・君（You）と「@」アットホーム（自宅で，くつろいで），「links」つながる，輪，絆などを合わせて，「あなたとつながるアットホームな場」として考えた造語。

1 開設の目的

- ・ 学校や社会とつながりがもてずに家庭で多くの時間を過ごしている不登校児童生徒が，教育から取り残されてしまうことがないよう，「学びの機会」を保障し，オンラインでの学習支援や相談，体験活動等を通して，人とのつながりを実感しながら，将来の「社会的自立」に向けた力を育む。

2 主な対象

- ・ 校内の別室や，来所型の施設の利用等につなげていない不登校児童生徒

3 担当職員 5名（指導主事1名，県費教員2名，SC1名，ICT支援員1名）

4 支援内容

- ・ オンラインで以下のような支援を行う。
ホームルーム，メタバース（仮想空間）でのアバターを使った交流，学習支援，相談，体験活動（農業体験，自然とのふれあい，公共施設の見学）など

※ 今後の児童生徒の利用状況等を踏まえて，適宜活動の見直しを行う。

5 指導要録上の出席扱い

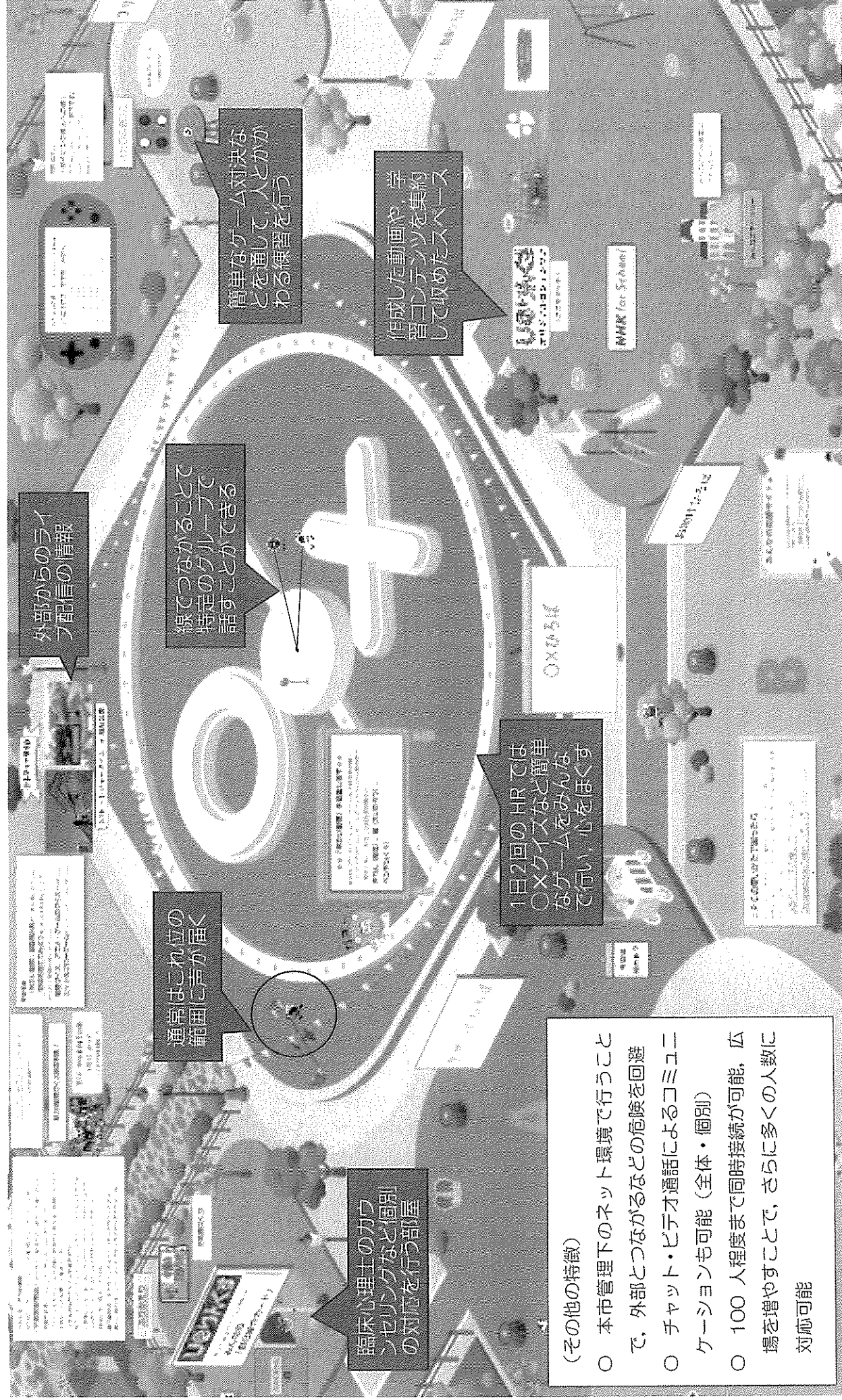
- ・ 「U@りんくす」の利用については，学校長の判断で「指導要録上の出席扱い」になるよう，児童生徒の活動状況を学校と共有していく。

※ 「スプレッドシート」で共有することにより，管理職及び学級担任が，児童生徒の活動状況を常時把握できるようにする。

6 利用までの流れ

- (1) 児童生徒及び保護者が，説明会動画を視聴する。
 - (2) 保護者が正式に申込を行い，ウェルカムセッションを予約する。
 - (3) ウェルカムセッションに参加後，利用が可能。
- ※ 教育センターでの相談は不要，利用開始時には，教育センターから学校に連絡する。
- ※ ウェルカムセッションでは，職員との顔合わせや，操作説明等をオンラインで行う。

＜子どもたちが活動するメタバース空間の様子＞ 学校・教室をイメージしないアットホームな空間として設定



あなたとつながる**あっと**とホームな居場所

デジタル適応支援教室「U@りんくす」

宇都宮市では、不登校になっている子どもたちが安心して過ごせるオンラインの居場所を、令和5年4月より開設しました。

すべての活動は、児童生徒の「自己決定」を大切に、自分のペース、自分の興味関心をもとに進めていきます。

不登校児童生徒に対して行う3つの支援



○ 授業配信・動画コンテンツの活用

動画コンテンツ・配信授業より、個に応じた教材を活用する。

○ AI型学習ドリルの活用

個別最適な学びを進める。

○ コミュニケーション力の育成

アバターを活用して、コミュニケーションスキルを磨く。

○ SCとの面談

SCとの面談を通して、心のケアや自信の回復を行う。

○ ホームルーム ヌムルム PM1:00

メタバース（仮想空間）を活用した児童生徒同士の交流を行う。

将来の社会的自立

○ オンライン社会体験

自立につながる職業や活動に触れる。（農業・民間企業・ボランティア活動など）

○ オンライン体験活動

自分自身の視野を広げるための体験活動に参加する。（陶芸・書道・写真・プログラミング）

○ 大学・専門学校との連携

将来の夢につながる学びの楽しさに出会う。（教育・心理学・科学・デジタル・アートなど）

つながる
広がる
オンライン

デジタル適応支援教室

ゆー あっと

「U@りんくす」

☎ 1006433

「U@りんくす」では、不登校の子どもたちの「学びの機会」を保障し、オンラインでの学習支援や相談、体験活動などを通して、人とのつながりを実感しながら、将来の「社会的自立」に向けた力を育んでいます。

☎ 市教育センター ☎ (639) 4380

■「U@りんくす」で交流しよう

「U@りんくす」では、インターネット上に、不登校の子どもたちが安心して過ごせる仮想空間(メタバース空間)を作り、自分の分身であるアバター(キャラクター)を使って、活動に参加できます。1日2回のホームルームや、日替わりのライブ配信の他、宇都宮動物園や宇都宮城址公園など、屋外からのライブ配信、社会人への職業インタビューなどのオリジナル動画コンテンツの作成など、さまざまな活動プログラムを提供しています。

※対象 市内在住の小・中学生のうち、学校に登校していない人。

※その他 申込方法や説明会動画など、詳しくは、市教育センター(☎)URLをご覧ください。市立の小・中学校以外に、市内にある私立・国立・県立の小・中学校に在籍している人も利用が可能です。



▲市教育センターHP

「U@りんくす」の利用イメージ

自分のペースで、自分の興味関心を基に進められます。

- ▼生活のリズムが整うように、決められた時間にホームルームやライブ配信に参加。
- ▼音声や文字のやり取りにより、仲間と自由に交流。
- ▼自分で描いた絵や制作した作品を紹介。
- ▼オリジナル動画コンテンツ視聴やプログラミング体験など、自分のペースで活動。
- ▼季節に合わせたイベントや、他の適応支援教室との合同行事など、現実世界(リアル)での交流。
- ▼オンラインによる個別面談や保護者面談(希望制)。



学びの機会の保障



将来の社会的自立
を目指した支援



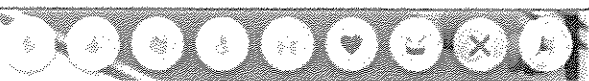
心とつながりの場づくり

「U@りんくす」の空間イメージ

つながる 出会う 広がる

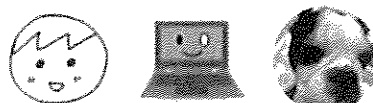


アバターを使って、拍手、OKなどのリアクションや、チャットでのやり取りが可能です。



ゲスト
応対中

アバターで自分の分身を作れます



アバターは、自分が描いたイラストや撮影した写真などに変更できます。

ゆーあっと

「U@りんくす」

すべての活動は、子どもたちの「自己決定」を大切にして、
自分のペース、自分の興味関心をもとに進めていきます。

「U@りんくす」の活動の様子

日替わりのライブ配信

スクールカウンセラー
による心のサポート



SCたっきーのほっとひとときタイム

屋外からのライブ配信



トレジャータイム「ライトラインに試乗」

オリジナル動画コンテンツ

植物の生長の様子を
継続的に観察



「野菜の苗を育てよう」シリーズ

季節に応じたイベント

合同行事の際に
収穫した苺を使用

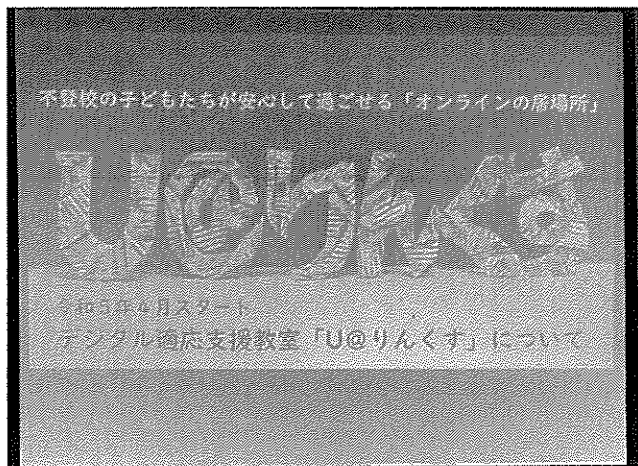


りんくすクッキング「切り餅を使った苺大福づくり」

「U@りんくす」で公開している動画コンテンツの一部

お仕事図鑑「株式会社うさぎや商店」





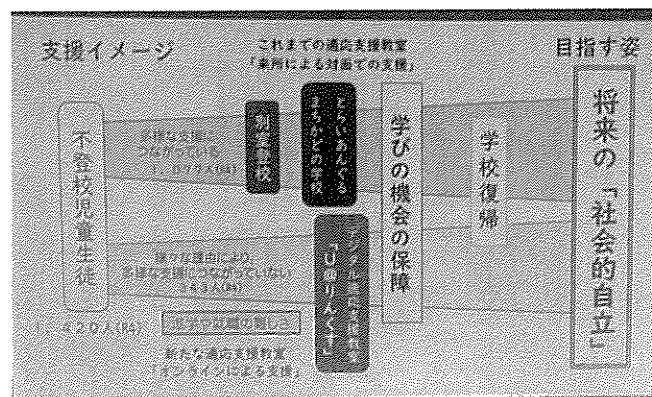
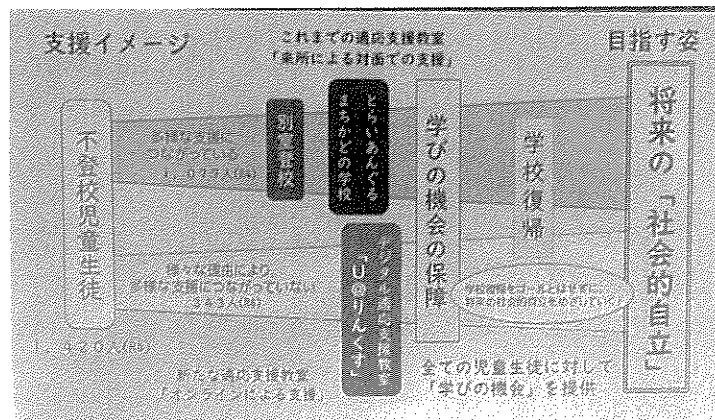
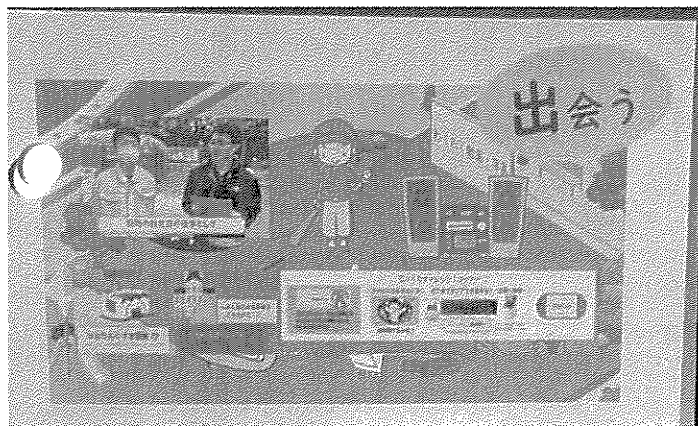
☆ 不登校対策の国の動向から

教育機会確保法の基本理念(1)(2)(3)
 支援に際しては、登校という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に探求し、社会的に自立することを目指す必要がある。

学習指導要領改訂解説(1)(2)
 家庭で多くの時間を過ごしている不登校児童については、……必要な情報や助言、ICT等を活用した支援、家庭等への訪問による支援を行うことが重要である。

不登校調査研究の基報告書(1)(2)(3)
 不登校児童生徒の多様な教育機会の確保
 ICTを活用した学習、体験活動、相談支援等を一括して行う「不登校児童生徒支援センター(仮称)」の設置促進

デジタル教育推進計画(1)(2)(3)
 特別な支援が必要な児童生徒に対するきめ細かな支援、……多様な学びの機会の提供等に、ICTの持つ特性を最大限活用することが重要である。



◎ 「U@りんくす」が行う3つの支援

学びの機会の保障

- 授業配信・動画コンテンツの活用
動画コンテンツ・配信授業より、個に合わせた教材を活用する。
- AI型学習ドリルの活用
個別最適な学びを進める。
- コミュニケーション力の育成
アバターを活用して、コミュニケーションスキルを高める。

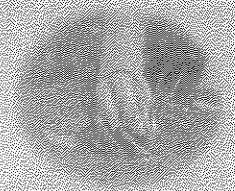
◎ これまでの活動の様子

学びの機会の保障

まちなかの学校の料理教室をライブ配信視聴しながらメタバース内でチャットを通して質問や感じたことを述べていく。

○「U@リンクす」が行う3つの支援

将来の社会的自立 を目指した支援



○ オンライン社会体験

自立につながる職業や活動に触れる。(農業・民間企業・ボランティア活動など)

○ オンライン体験活動

自分自身の視野を広げるための体験活動に参加する。(陶芸・書道・習字・プログラミング)

○ 大学・専門学校との連携

大学への夢につながる学びの楽しさに出会う。(教育・心理学・科学・デジタル・アートなど)

○ これまでの活動の様子

将来の社会的自立 を目指した支援

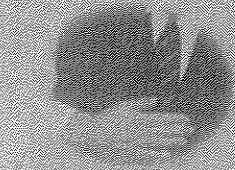
動物園の飼育員・図書館司書
計中華から戻り訪まで将来に
つながる仕事を紹介
その仕事に就くために必要な
知識や経験についても話して
もらうことで、将来へのビジョ
ンを拓くようにしていく。



動物園の飼育員・図書館司書

○「U@リンクす」が行う3つの支援

心とつながりのサポート



○ SCとの面談

SCとの面談を通して、心のケアや生活の改善を行う。

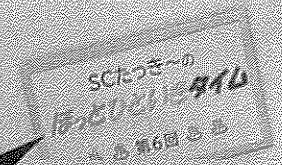
○ ホームルーム

メッパース(視覚空間)を活用した児童生徒同士の
交流を行う。

○ これまでの活動の様子

心とつながりのサポート

スクールカウンセラーによる
児童生徒・保護者対象の相談
は勿論のこと、月に1、2回、
ライブ配信で簡単な心理学的
内容を紹介し、人とのかわり
方を学ぶきっかけとなるよ
うに提供している。



ストレス反応をやわらげる方法

自分に起こったストレス反応に対して、
「いい」とか「悪い」とか
「これじゃだめだ」とか
「好きだ」とか「嫌いだ」とか考えない。
「今、どかがしなきゃ」と考えない。

○「U@リンクす」が大切にしていること

子どもたちの「自己決定」

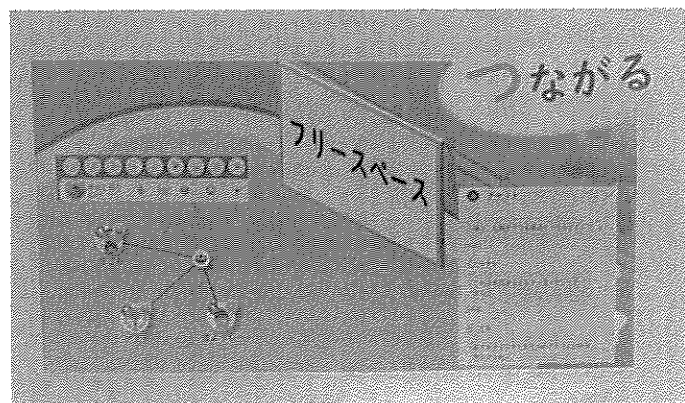
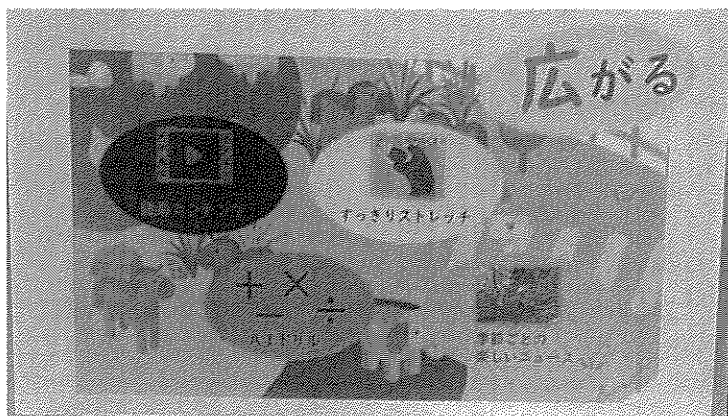
すべての活動は、子どもたちの「自己決定」を大切に、
自分のペース、自分の興味関心をもとに進めていきます。

活動名	活動内容	活動日時	活動場所
1. オンライン社会体験	動物園の飼育員・図書館司書	10月10日(土) 14:00~15:00	動物園・図書館
2. オンライン体験活動	陶芸・書道・習字・プログラミング	10月11日(日) 10:00~12:00	陶芸・書道・習字・プログラミング
3. 大学・専門学校との連携	教育・心理学・科学・デジタル・アート	10月12日(月) 18:00~20:00	大学・専門学校

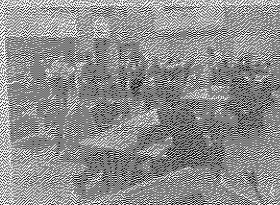
毎週届く『今週の活動予定表』
から、興味のある活動を選んだり、
空いている時間にAIドリル
を使って学習するなど『自分た
けの活動予定表』を作って活動
を進めていきます。

○ 振り返り (学校と共有)

振り返り項目	振り返り内容	振り返り結果
1. 活動の振り返り	1. 活動の振り返り 2. 活動の振り返り	1. 活動の振り返り 2. 活動の振り返り
2. 活動の振り返り	2. 活動の振り返り 3. 活動の振り返り	2. 活動の振り返り 3. 活動の振り返り
3. 活動の振り返り	3. 活動の振り返り 4. 活動の振り返り	3. 活動の振り返り 4. 活動の振り返り
4. 活動の振り返り	4. 活動の振り返り 5. 活動の振り返り	4. 活動の振り返り 5. 活動の振り返り
5. 活動の振り返り	5. 活動の振り返り 6. 活動の振り返り	5. 活動の振り返り 6. 活動の振り返り



令和5年7月
定時制高校・通信制高校・サポート校に係る合同説明会

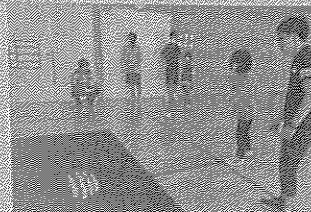


〔7月20日〕参加校ごとにブースで説明



〔7月20日〕併せてオンラインで実施

令和5年8月 オフ会の開催（計3回実施）

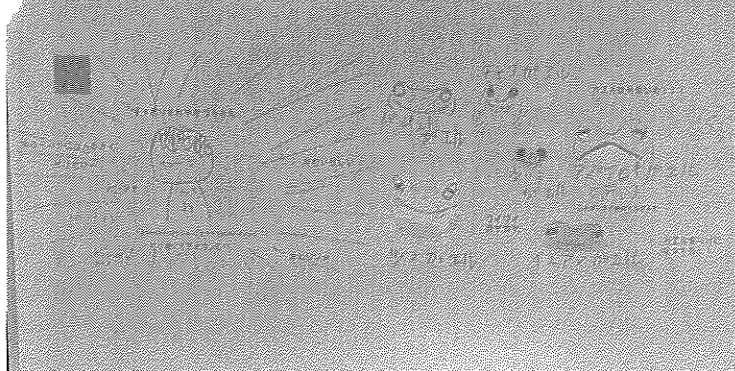


〔8月4日〕スポーツ体験「モリック」等

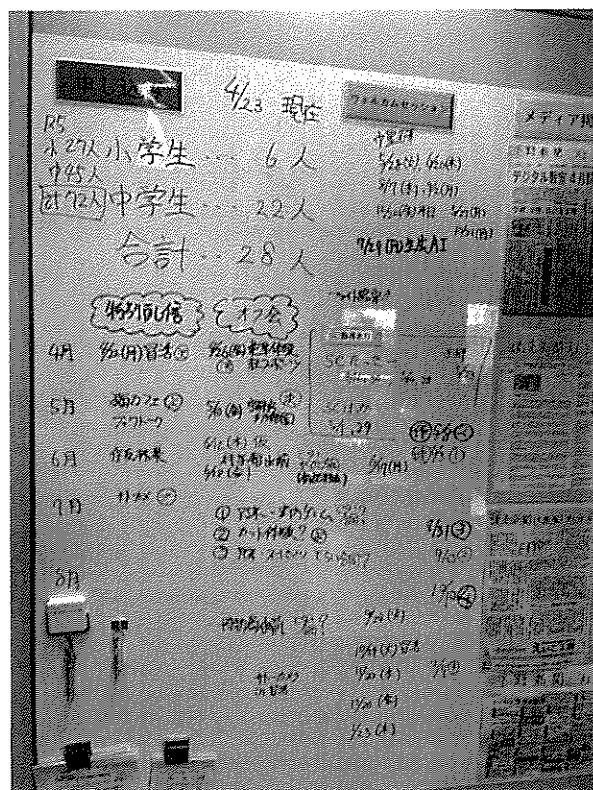
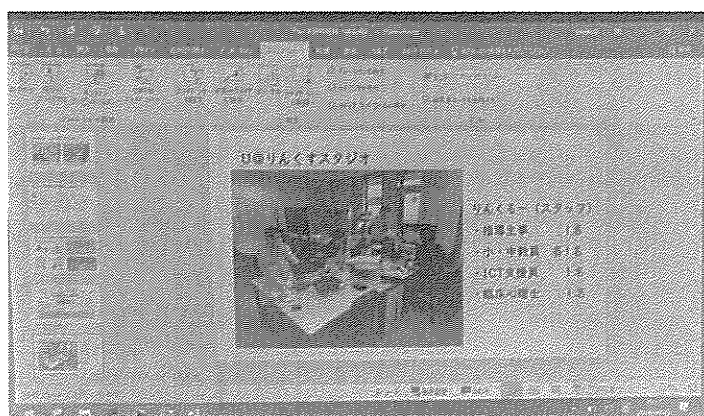


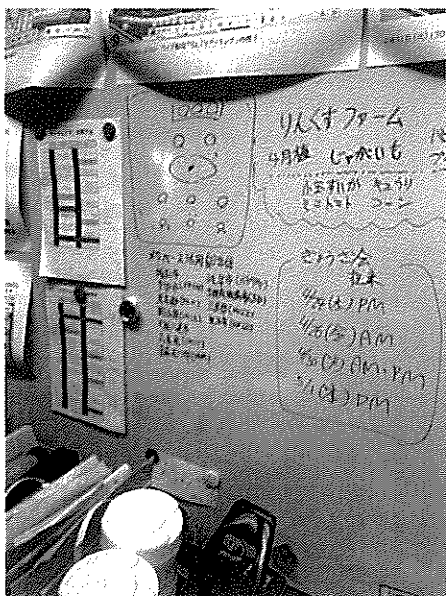
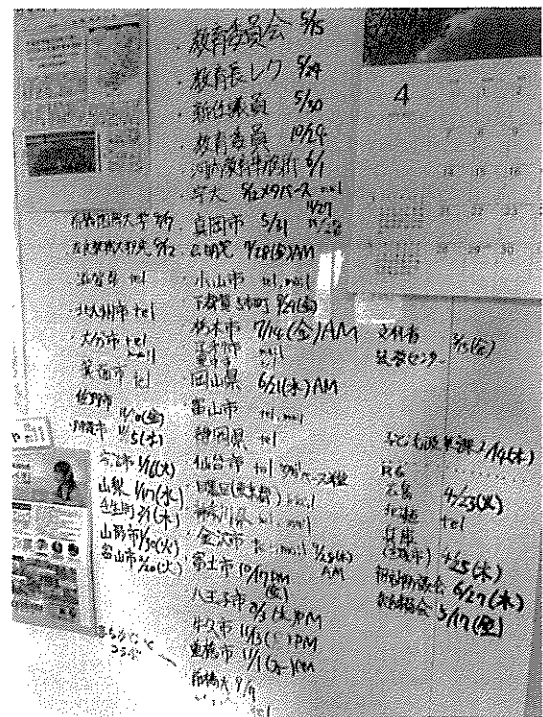
〔8月4日〕野菜の収穫体験

○ つながるを意識した共同作業（お絵描きボード）



○ つながるを意識した共同作業（動画の紙芝居作り）







宇都宮市教育センター
デジタル適応支援教室
「U@りんくす」担当

副主幹・指導主事 飯島 実

〒320-0816 栃木県宇都宮市天神1-1-24
TEL: 028-639-4380 (教育相談室)
e-mail: ulinks@ueis.ed.jp



宇都宮市教育センター



所長 飯田 高広

〒320-0816 栃木県宇都宮市天神1-1-24
TEL: 028-639-4388
FAX: 028-639-4393

URL: <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>
E-mail: u47150000@city.utsunomiya.lg.jp




UTSUNOMIYA CITY
宇都宮市議会事務局 政策調査課
主任書記 塩谷 沙織

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号
TEL: 028(632)2611 FAX: 028(632)2613
Mail: u79002000@city.utsunomiya.tochigi.jp

市議会HP  




UTSUNOMIYA CITY
宇都宮市議会事務局 政策調査課
書記 相馬 亮太

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号
TEL: 028(632)2611 FAX: 028(632)2613
Mail: u79002000@city.utsunomiya.tochigi.jp

市議会HP  



政務活動費支出書

支出科目	要請・陳情活動費	内 訳	旅費	支出番号	2
支 出 日	2024年9月9日		支出金額	29,728 円	
支 出 先	JR西日本。JR東海、東京メトロ				
支出内容	旅費（国土交通省へ陳情のため）宝塚から国土交通省				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供 別紙様式7-2(議員用) 電	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
									議

要請・陳情活動報告書

宝塚市議会議員 様

議員名 中野正



要請・陳情活動の結果について、次のとおり報告します。

- 1 要請・陳情先
(名称・相手方氏名等)
- 国土交通省 斉藤鉄夫国土交通大臣
- 2 要請・陳情活動の実施場所
(名称・所在地)
- 東京都千代田区霞が関2-1-3
国土交通省 大臣室
- 3 期 間
- 2024年9月9日
- 4 出張者氏名(議員名)
- 中野正、坂本篤史
- 5 要請・陳情活動の内容(概要) ※成果、所見等については別紙を添付
- 宝塚市長および市幹部、さらに兵庫県宝塚土木事務所所長と共に、来年度予算要望として、道路関係等の要望を行った。
- 6 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
9/9 ✓	J R ✓	宝塚⇄新大阪(往復) ✓	¥1,020	有・無 ✓	㊚ 510円×2
	J R ✓	新大阪⇄東京(往復) ✓	¥28,060	有・無 ✓	
	J R ✓	東京⇄有楽町(往復) ✓	¥292	有・無 ✓	㊚ 146円×2
	地下鉄 ✓	有楽町⇄桜田門(往復) ✓	¥356	有・無 ✓	㊚ 178円×2
				有・無	
				有・無	
				有・無	
合 計			¥29,728	✓	

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

人	泊	金額	計	円
7 交通費	ガソリン代			円
	高速代			円
	駐車場代			円
	自動車借上料			円
	計			円



陳情活動報告書（別紙）

日時 2024年9月9日

場所 国土交通省 大臣室（東京都千代田区霞ヶ関2-1-3）

内容

令和6年度予算に対する要望

重点要望事業（大臣に直接要望した2点を以下に示す）

1、道路等、社会基盤施設の設備に必要な予算の確保

（ここでは特に、都市計画道路荒地西山線、都市計画道路競馬場高丸線、都市計画道路山手幹線について説明し

大臣より要望踏まえ支援する旨の発言いただく

2、駅のバリアフリー化を図るために必要となる予算の確保

JR武田尾駅バリアフリー化事業の促進【JR西日本施工】

宝塚市において兵庫県やJR西日本と協力してバリアフリー基本構想及びエレベーター設置等について説明をし

大臣より国土交通省として、事業が円滑に進むように鉄道事業予算の確保に努めるとの発言をいただく

（ 所感

今年も宝塚在住の伊藤たかえ参議院議員のルートで直接、国土交通大臣に市長が陳情する。

大臣からも、踏み込んだ発言をしていただいているので、取り組みに向けて努力していく。

No. 60027826 エクスプレス予約
表示日 2024年9月10日 9時15分

領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM 中野正

坂本篤史

様

お預かり番号
RESERVATION2006
NUMBER

クレジットカード番号
CARD NUMBER
XXXX-XXXX-XXXX-

金額計 TOTAL AMOUNT	¥28,060 (10%・税込) (クレジットカード利用・Credit card use)	内容 DETAIL	乗車券類のご購入代金 TICKETS PRICE
---------------------	--	--------------	-----------------------------

購入日 DATE OF PURCHASE	2024年9月4日	乗車日 DATE OF DEPARTURE	2024年9月9日
-------------------------	-----------	--------------------------	-----------

列車名・券種 利用区間	のぞみ354号 新大阪 FROM 東京 TO
----------------	------------------------------

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569



14,030.-

No. 70027826 エクスプレス予約
表示日 2024年9月10日 9時16分

領収書
RECEIPT

宛名
RECEIVED FROM 中野正

坂本篤史

様

お預かり番号
RESERVATION2007
NUMBER

クレジットカード番号
CARD NUMBER XXXX-XXXX-XXXX-XXXX

金額計 TOTAL AMOUNT	¥28,060 (10%・税込) (クレジットカード利用・Credit card use)	内容 DETAIL	乗車券類のご購入代金 TICKETS PRICE
---------------------	--	--------------	-----------------------------

購入日 DATE OF PURCHASE	2024年9月9日	乗車日 DATE OF DEPARTURE	2024年9月9日
-------------------------	-----------	--------------------------	-----------

列車名・券種 利用区間	のぞみ59号 東京 FROM 新大阪 TO
----------------	-----------------------------

東海旅客鉄道株式会社
Central Japan Railway Company
登録番号 T3180001031569

一人 ¥ 14,030



国土交通大臣

齊藤 鉄夫 様

防災・減災対策の推進に関する要望

令和6年9月9日

宝塚市

令和7年度予算編成に対する要望

平素は、本市の防災・減災対策の推進に対し、格別のご尽力とご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近年、毎年のように記録的な豪雨や大型台風、梅雨前線に伴う大雨や、線状降水帯発生による河川の氾濫や土砂災害など、災害の様相も頻発化・激甚化・広域化しています。更に、南海トラフによる巨大地震の発生が懸念されている状況下において、市民の生命・財産を守り、より住みやすく豊かで活力ある地域づくりを進めるためには、河川・砂防などの防災対策はもちろん、迅速な避難・救助活動や復旧・復興を図るための道路・橋梁をはじめとするインフラ整備と老朽化対策を計画的かつ確実に進めていく必要があります。

本市において、令和2年3月に宝塚市地域強靱化計画を策定し、道路・橋梁などのインフラ整備と老朽化対策を計画的に推し進めていきますが、そのためには国土交通省の深いご理解とご指導が必要であります。

つきましては、次に掲げる事業はいずれも今後の本市の防災・減災力を向上させるために必要不可欠な事業でありますので、令和7年度予算編成に際し、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 防災・減災、国土強靱化のための対策の充実

事前防災対策や老朽化対策を推進するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の最終年度となる令和7年度においても、賃金水準などの上昇も加味した上で、必要な予算・財源を例年以上の規模で確保をお願いします。また、令和6年能登半島地震などを踏まえ、5か年加速化対策後も中長期的かつ明確な見通しの下、継続的・安定的に国土強靱化を推進できるよう、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保をお願いします。

2 重点要望事業

(1) 道路等、社会基盤施設の整備に必要となる予算の確保

災害時の避難・救助、迅速な復旧・復興に不可欠な都市計画道路の着実な整備や、新型コロナ収束後の経済活動V字回復のためのポストコロナ社会を見据えた社会基盤施設の整備促進に必要となる予算の確保をお願いします。

都市計画道路荒地西山線〔小林工区〕

〔平成8年度～令和8年度予定〕

都市計画道路競馬場高丸線〔仁川清風台工区〕

〔令和7年度～令和14年度予定〕

〔仁川宮西町工区〕

〔平成29年度～令和9年度予定〕

都市計画道路山手幹線〔梅野町工区〕

〔令和5年度～令和7年度予定〕

〔仁川清風台工区〕

〔令和7年度～令和14年度予定〕

(2) 駅のバリアフリー化を図るために必要となる予算の確保

鉄道駅総合改善事業により、エレベーターの設置ができていない JR 武田尾駅のバリアフリー化を図ることで、高齢化が進展する宝塚市西谷地域の利便性及び健康福祉を増進し、観光客などの来訪者にとっても安心して安全に移動できるバリアフリー空間の計画的な整備促進に必要となる予算の確保をお願いします。

JR 武田尾駅バリアフリー化事業の促進 〔JR 西日本施工〕

(3) 社会基盤施設の老朽化対策に必要となる予算の確保

市民生活に密着した、インフラに潜む災害リスクを取り除き、安全・安心な生活基盤を確保するため、予防保全を含む老朽化対策事業の着実な実施に必要となる予算の確保をお願いします。

橋梁長寿命化事業

舗装修繕事業

下水道ストックマネジメント

流域下水道事業及び兵庫東流域下水汚泥処理事業 〔兵庫県施工〕

配水池統廃合事業

(4) 災害復旧に係る体制強化

広域的な大規模災害時の迅速かつ円滑な復旧等に資する、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣や国による権限代行等が速やかに実施できる体制・機能の拡充・強化をお願いします。

(5) 総合的な治水対策に必要となる予算の確保

頻発する大規模水害に備えるため、武庫川流域の治水対策に必要となる予算の確保をお願いします。

令和6年9月9日

宝塚市長 山崎晴恵

重点要望 街路事業の整備促進

宝塚市

事業概要 (令和7年度予定) 《事業主体》

都市計画道路荒地西山線〔小林工区〕 《宝塚市》

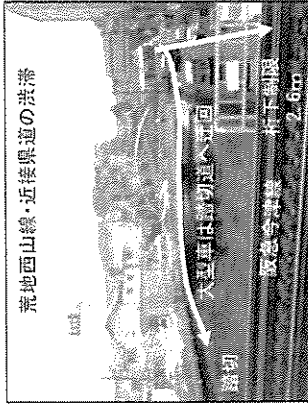
本事業によって道路網の整備を図ることにより、鉄道軌道による中心市街地の分断解消、安全な通学路の確保とともに、周辺踏切の交通量低減を図る。

・側道・歩道の整備促進に努める。

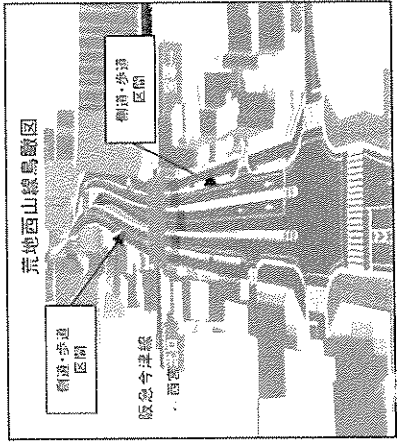
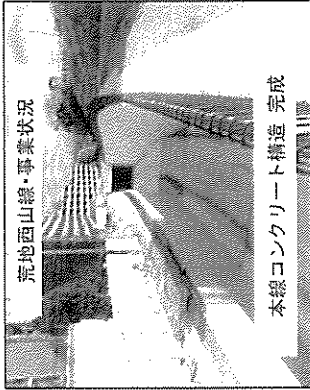
全体事業費：14,000百万円(残事業費1,013百万円(国費557百万円))

状況写真

写真①



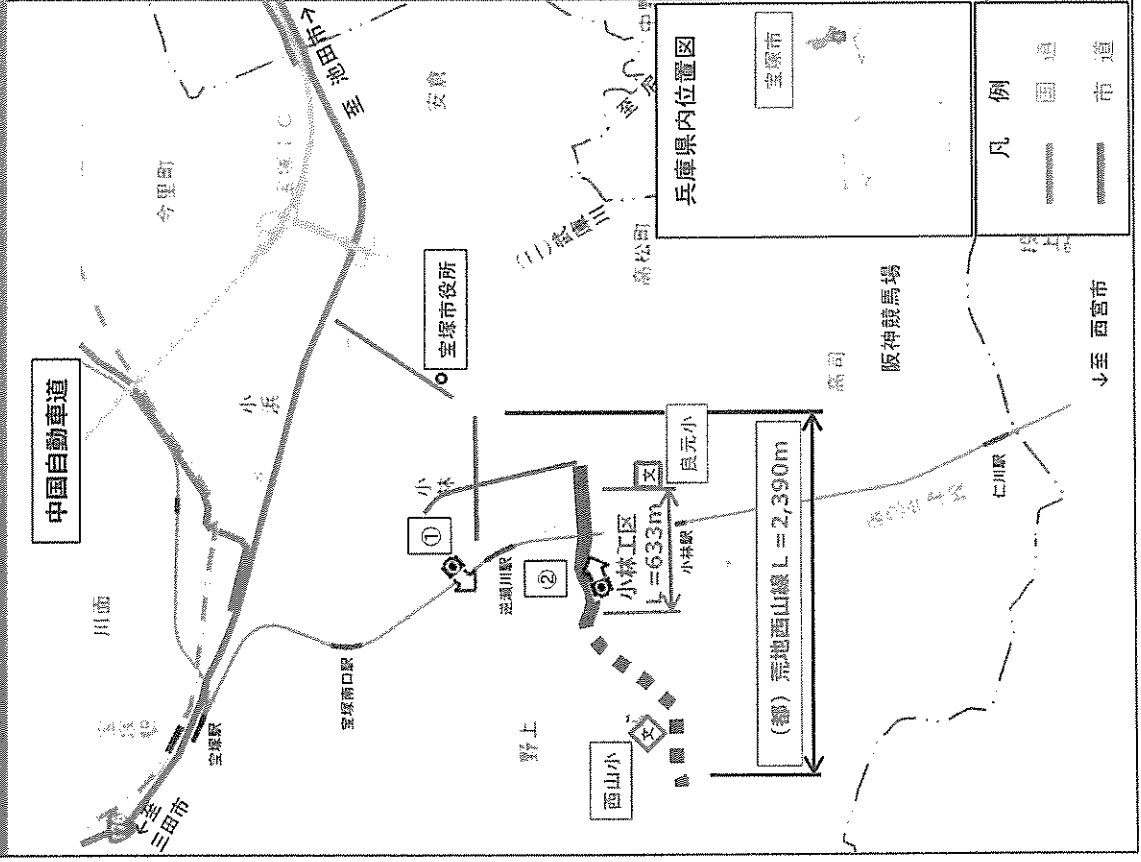
写真②



残工事個所断面図
整備幅員27m

側道・歩道・仕上げ工事
(R6~R8施工予定)

位置図

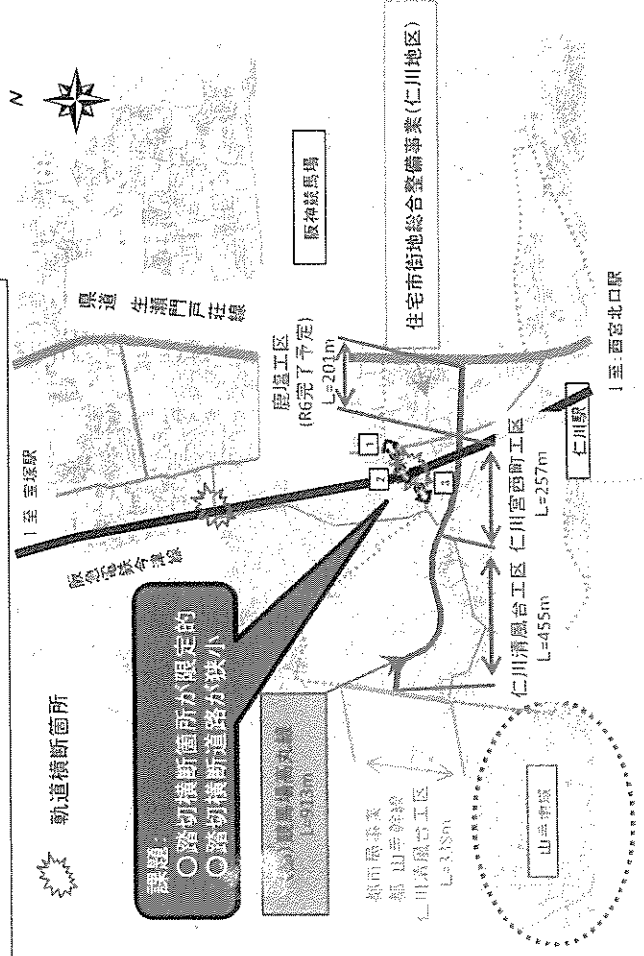
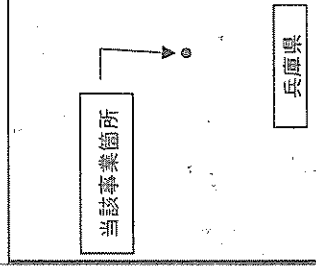


重点要望 住宅市街地総合整備事業の促進

宝塚市

■ 災害に強いまちづくりのための住市総事業の促進

- 社会資本総合整備計画名:
宝塚市における住環境の改善および都市機能の向上計画
- 要素事業名:住宅市街地総合整備事業(仁川地区)
- 関連公共事業(都)競馬場高丸線(L=900m、W=14~17m)
- 地区の課題:
宝塚市の仁川地区は、阪神大震災でインフラ不足が課題となった。現在でも以下の図のとおり課題があり、緊急車両の通行に支障をきたしている。
- 整備の目的
頻発する地震災害に備え、災害に強いまちづくりのため、インフラの整備を行う。これにより、山手地域等への緊急車両の到達時間を約半分に短縮する。合わせて、安全な歩行空間の確保を行う。
- 事業期間(街路事業認可期間)
仁川宮西町工区:平成29年度~令和9年度
仁川清風台工区:令和7年度~令和14年度(予定)
- 総事業費 8,530百万円(国費:4,265百万円)



重点要望 街路事業の整備促進

宝塚市

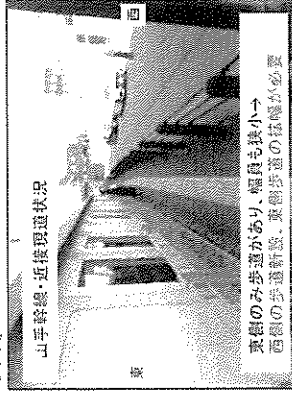
事業概要 (令和7年度) 《事業主体》

都市計画道路山手幹線〔梅野町工区〕 《宝塚市》

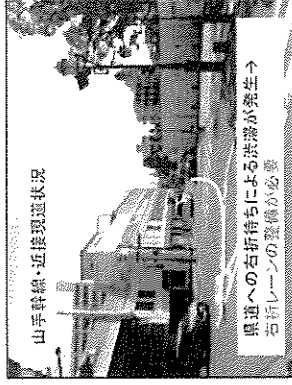
- ・本事業区間には東側(宝塚南口駅側)にしか歩道がなく幅員も狭い状況で、旧宝塚ホテル跡地の開発に伴い、西側に歩道を整備し歩行者空間を確保する。
 - ・朝夕に発生する渋滞解消について、阪急宝塚南口駅前交差点に右折レーンを整備し、駅周辺を円滑で安全な移動の促進を図る。
- 全体事業費:500百万円(残事業費124百万円(国費62百万円))

状況写真

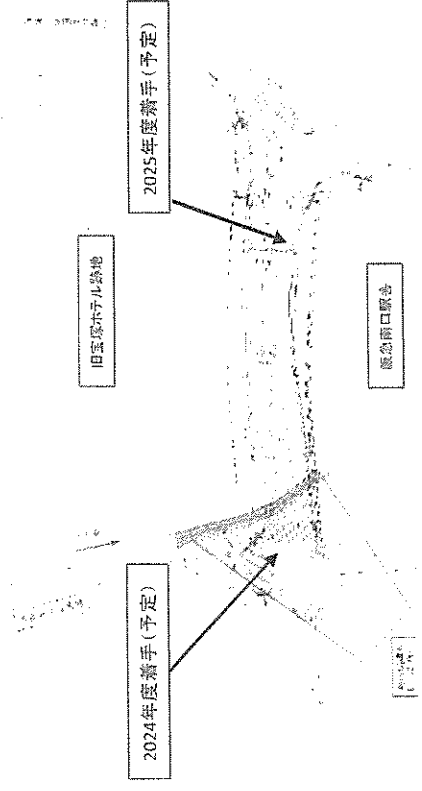
写真①



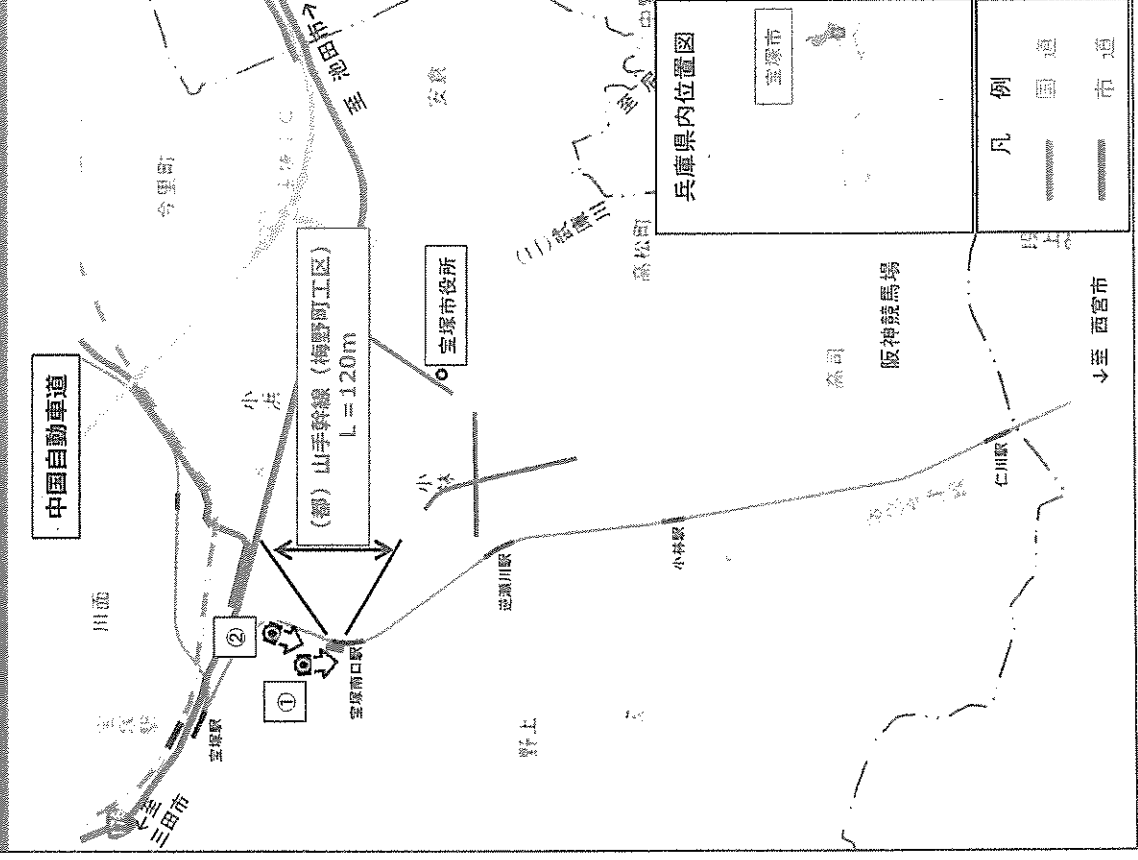
写真②



宝塚市



位置図



事業概要（令和7年度予定）《事業主体》

JR武田尾駅バリアフリー化 《JR西日本》

鉄道駅総合改善事業により、エレベーターの設置ができていないJR武田尾駅のバリアフリー化を図ることで、高齢化が進展する宝塚市北部地域（西谷地域）の利便性及び健康福祉を増進し、観光客などの来訪者にとっても安心して安全に移動できるバリアフリー空間の計画的な整備を促進する。

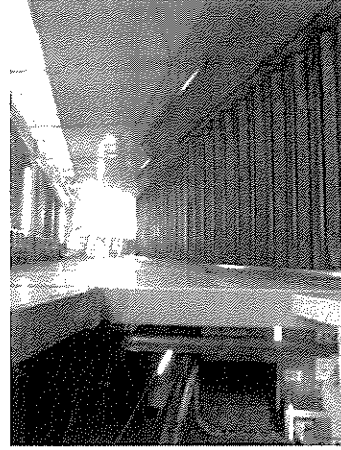
全体事業費：1,300百万円（国費650百万円）

状況写真

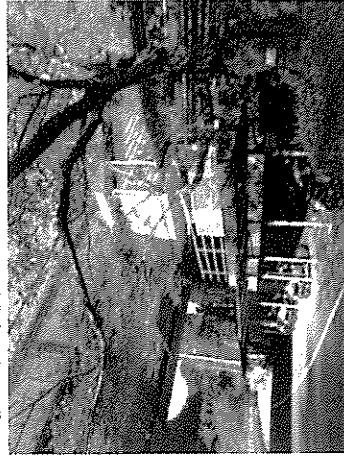
駅前スロープ



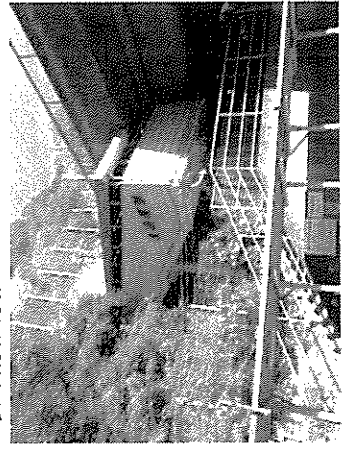
駅構内階段



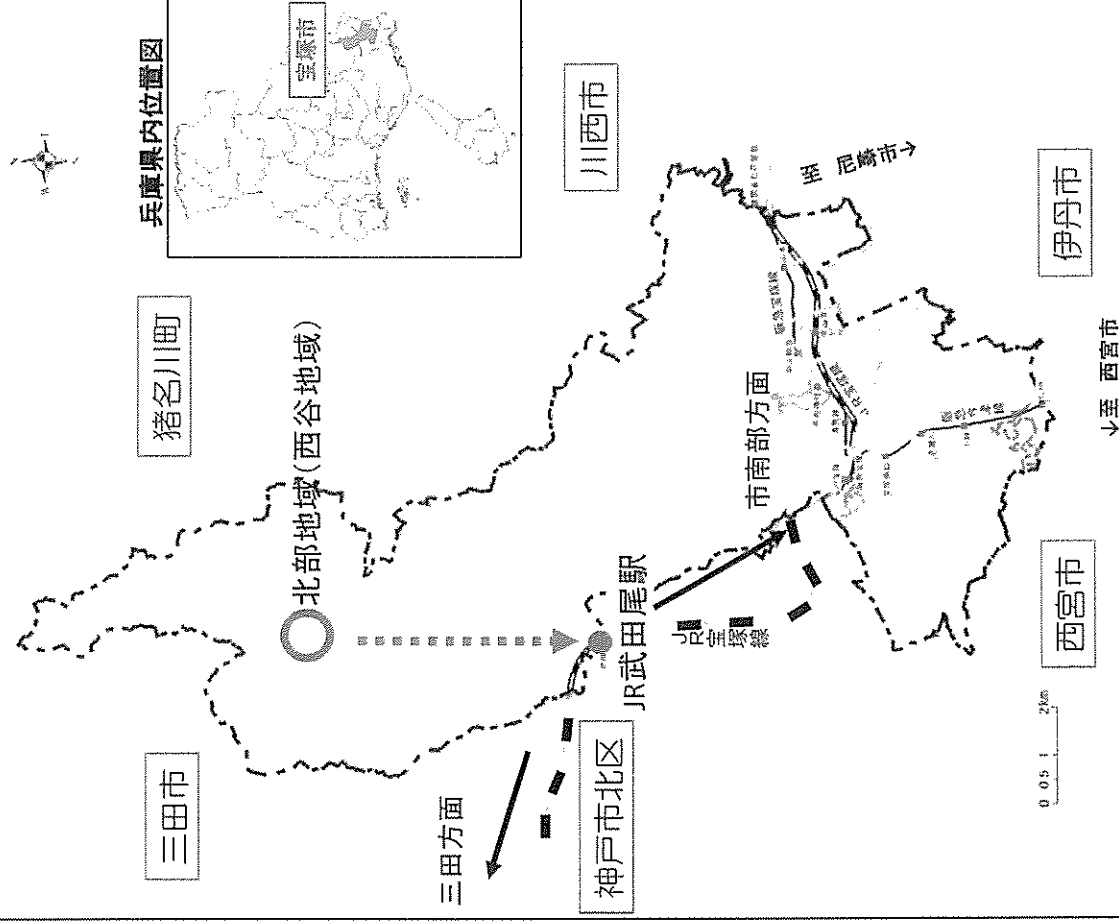
駅外観（東側）



駅外観（西側）



位置図



(会派名または議員名 中野 正)

政務活動費支出書

支出科目	調査費	内 訳	交通費	支出番号	3
支 出 日	2024年4月25日		支出金額	1,759 円	
支 出 先	本田タクシー株式会社 他				
支出内容	タクシー代 「出張調査（研究・研修会参加）報告書及び領収書は支出書No.1 に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額